

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

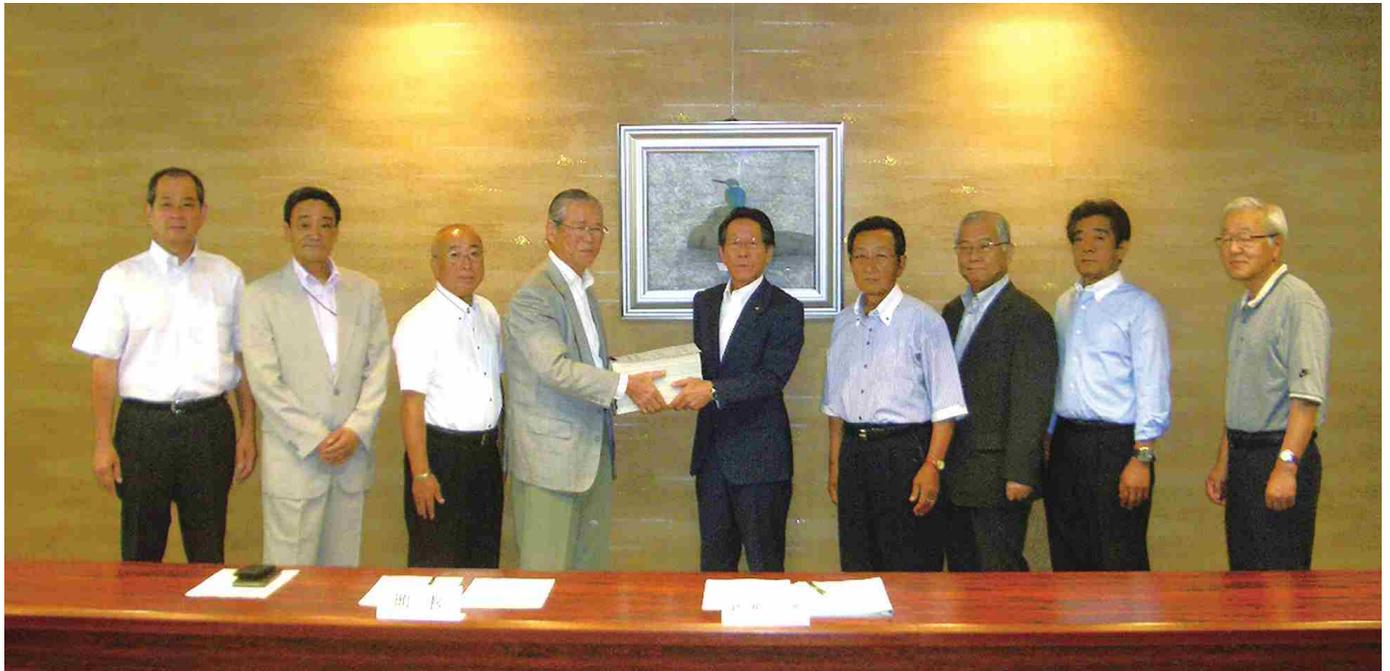
第2号

平成26年10月発行 発行/愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集/愛川町企画政策課

延伸への熱意、町長に届けました！

平成26年2月1日から28日まで、小田急多摩線の愛川・厚木方面への延伸を実現するため、行政区の協力のもと署名活動を実施し、署名総数18,006人、愛川町の人口の約4割を超える多くの方から署名をいただきました。

皆様からお預かりした署名は国に届けるため、7月31日に、小野澤町長に提出しました。



協議会役員の前立会のもと瀧会長（左）から小野澤町長（右）に署名を手渡しました

小田急多摩線延伸の取り組みを知ってもらうために横断幕を設置

小田急多摩線延伸の実現を目指し、町民皆様をはじめ、近隣市町村の方などに対し、当協議会の取り組みを広くPRしていこうと横断幕を作製しました。横断幕には、「小田急多摩線の愛川・厚木方面への延伸を実現させよう！」と標記しています。



中津坂本地区（衛生プラント）に設置

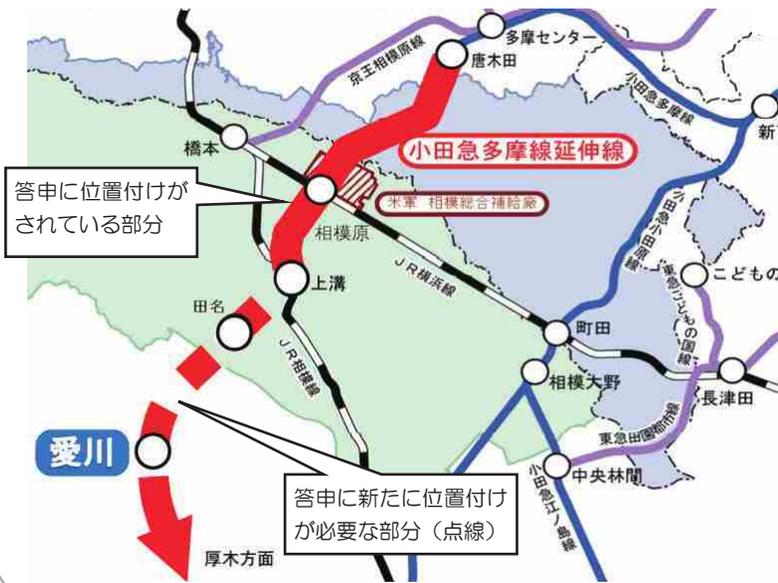
小田急多摩線の延伸に向けた取り組み

これまでの東京圏の鉄道の整備は、国の「交通政策審議会」において15年に一度答申される鉄道整備計画に基づき進められています。現在、新たな鉄道整備計画を策定しようと交通政策審議会が開催されており、平成27年度中に答申がとりまとめられることとなっています。

小田急多摩線の延伸については、平成12年の運輸政策審議会（現：交通政策審議会）答申第18号において、「唐木田からJR横浜線・JR相模線方面への延伸について、今後、整備を検討すべき路線」として位置付けられています。このJR相模線上溝駅までの区間は、町田市と相模原市で延伸に向けた取り組みが進められ、平成26年5月には両市長間で平成39年までの延伸の実現を目指した取り組みを進めるなどの覚書が交わされました。また、平成26年9月末には相模

総合補給廠の一部（約17ha、うち道路・鉄道用地として約2ha）の土地が日本政府に返還され、延伸の実現に向けて大きく前進しています。

さらに、上溝駅から田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸については、平成27年度に予定される交通政策審議会答申への位置付けに向けて、住民、行政が一体となって、国や県に働きかけていくことが重要です。



勤労祭野外フェスティバルにてPR活動を行いました

平成26年8月31日（日）に開催された「勤労祭野外フェスティバル」において、のぼり旗を掲げ、啓発物品を配布しながら、本協議会の活動および小田急多摩線延伸のPRを行いました。

（写真）
勤労祭でのPR活動の様子



愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（43団体）

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地工業会、（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、愛川町商店会連合会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、KAA建築協会愛川、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合 《順不同》